

第12回福岡市地下鉄七隈線建設技術専門委員会 議事要旨

議 事

- 1 七隈線延伸事業の進捗状況について（報告）
- 2 道路陥没部やトンネル坑内の現在の状況について（報告）
- 3 トンネル坑内水抜き・土砂撤去時の計測について（報告）
- 4 大断面トンネル部の再掘削計画について
- 5 3連トンネル部の掘削計画について

委員会での主な議論

1について

○七隈線延伸事業全体について現在の進捗状況の報告があった。

2について

○事故発生時から現在までの地下水位やトンネル周辺地盤の計測状況の報告があり、問題となる変化がなく安定していることを確認した。

○地盤改良の機能確認調査結果の報告を受け、地盤の改良状態やその強度、止水性が所定の能力に達していることを確認した。

3について

○前回の委員会では了承された水抜き・土砂撤去計画における計測計画に従って、地表面及び地中の変位や土砂層及び岩盤層の地下水位、排水量を計測することを確認した。

○計測の管理にあたっては、許容値や過去の経験などを踏まえた範囲内の値となっているかなどの管理基準値を設定することを確認した。

○基準値については、より慎重を期すため、水抜きの際に新たに取得した計測データを蓄積し、必要により見直しを行うなど、より適切な値で管理していくことを確認した。

4について

○大断面トンネル部については、人工岩盤が所定の機能を満たしており、人工岩盤掘削により施工できることを確認した。

○より安全に再掘削を進めるため、掘削順序（加背割）を工夫するとともに、補助工法として先受工（AGF）をより密に施工することなど慎重に施工していくことの提案があり、了承した。

5について

○3連トンネル部については、中央坑を安全に掘削できているが、全区間にわたって強度にバラツキのある炭質頁岩層があることや土砂層からの高い水圧が作用していることを踏まえ、より安全に掘削を行うため、地下水対策や天端の安定化対策に有効な補助工法として、トンネル上部からパイプーフ（鋼管）を打設する方法をベースとすることで、今後詳細検討を実施し、そのうえで施工の際は慎重に進めていくことを確認した。